



野洲市教育研究所だより

7月号

「平成30年度 夏季研修講座」

夏季休業中に、全17講座 を開催します。

7月下旬に入り連日異常な暑さが続いています。市内校園所におかれましては、1学期が終了し、日々忙しさの中にもほっと一息といったところでしょうか。

教育研究所の研修講座は、1学期の第1回全員研修会、読書活動推進講座、野洲市教師育成塾（Ⅰ）（Ⅱ）（Ⅲ）、英語教育推進講座①、人権教育講座①とも、熱心な教職員の皆さんの参加を得て盛況裏に開催できました。引き続き、実践的で有意義な研修講座の開催に努めますのでみなさんの積極的な参加をお願いします。

夏季研修講座は、7月27日（金）の「授業力向上講座（道徳）①」からスタートしました。8月24日（金）の「人権教育講座②」までの17講座を開催します。昨年度と同じ講座数で、講座の内容を「学校安全」や「小学校英語教育」「プログラミング教育」など喫緊の教育課題に対応できるよう新たな講座を設けました。教職員のみなさんの多数の参加をお待ちしています。

[昨年度の授業力向上講座]



夏季研修講座（全17講座）

野洲市教師育成塾	7講座	特別支援教育講座	2講座
就学前教育講座	2講座	人権教育講座	1講座
英語教育推進講座	1講座	プログラミング講座	1講座
授業力向上講座	1講座	全員研修会	1講座
学校安全講座	1講座		

★8月9日（木）「学校安全講座」

地震による塀の崩落で児童の命が奪われた痛ましい事故のニュースも記憶に新しいところです。また、熱中症で1年生児童が亡くなるなど、学校で対応すべき不測の事態が年々増えています。不審者対応、交通事故、自然や人為的な災害等から子どもの安全を確保するのは、教職員の大切な責務の一つです。日常的に留意することについて学びます。

（ コミセンやす 14:00 から ）

新講座

★8月7日（火）9:30～
プログラミング教育講座

「これからはじめるプログラミング教育」のテーマで、講義と演習で学びます。

（三上小学校）

【講師】

県総合教育センター

小林 大輔 研修指導主事

野洲市教育研究所

TEL 077-587-6028

Email kenkyu@city.yasu.lg.jp

第111号 2018.7.27.



平成30年度 調査研究事業

研究主題：「外国語（英語科）授業の小中連携についての調査研究」

～小学校から中学校への接続を円滑にする教材・教具の工夫～

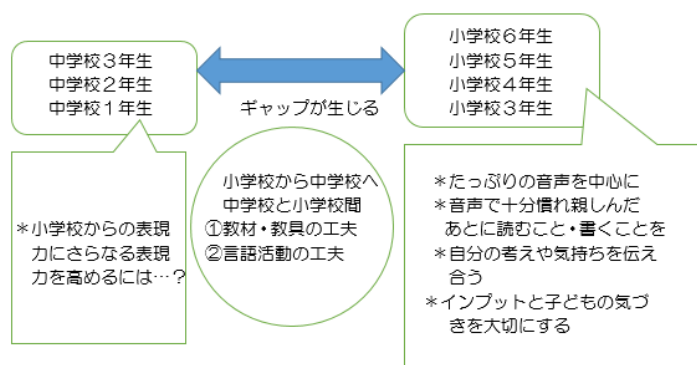
本年度、小学校では平成32年度の新学習指導要領の全面実施に向けて、移行措置として3年生と4年生ではそれぞれ年間週1コマの15時間、5年生と6年生では年間週2コマの50時間の外国語の授業が行なわれています。

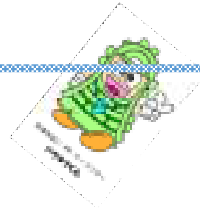
野洲市では英語専科指導教員2名が市内6小学校を1人3校担当し、5年生の英語教育を推進しています。また、各小学校の3年生、4年生、6年生の3学年については学級担任が英語科支援員とともに英語教育を行っています。

中学校でも平成33年度には新学習指導要領の全面実施を迎えます。当然今後、小学校英語が本格的に進むにつれ、英語に慣れ親しんだ児童が入学してくることになります。今後より一層小学校と中学校間の連携を深め、系統的な外国語教育を重視しなければなりません。今までは、中学校で初めて英語を学習するので、身のまわりの英語やローマ字、アルファベットの読み方の初歩的な内容から学習を始めていました。しかし、現在は小学校で英語に触れているので中学校では音声で慣れ親しんだ英語を文字に書くことにより活動がスムーズに進めることができると思われます。

しかし、中学校へ入学当初は元気で活発な姿勢で授業に参加する姿が見られるものの、学習が進むにつれ、挙手をしたり、ペア活動やコミュニケーション活動に興味を示さなくなったり…と徐々に意欲が薄れていく生徒が見られるようになってきています。中学校での「書く」活動につまずいてしまうことで、英語に苦手意識をもってしまう生徒が多くいます。中学1年生の1学期からすでに「英語が嫌い。」「英語が苦手。」と、発言する生徒もいます。

そこで、小学校で活発に「聞く」、「話す」ことに慣れ親しんだ子どもたちが中学校でも英語科の授業を楽しみ、主体的なコミュニケーション活動ができるように、教材や教具の工夫をしながら中学校や小学校と共同で授業開発に取り組み、小学校から繰り返し学習した表現力に、中学校ではさらなる表現力を高めるための言語活動の工夫を行なっていきたいと考えています。





平成30年度 スキルアップ事業 スタート

今年度のスキルアップ事業が6月にスタートしました。1回目は、教職5年目の先生方（小学校8人・中学校5人）の授業を参観し、その後懇談会を持ちました。各先生方とも、熱心に授業に取り組んでおられる姿や子どもと真剣に向き合っておられる姿が見られました。

また、新しい学習指導要領の主旨を先取りして、「主体的・対話的で深い学び」が生まれるよう、自分の考えが明確になるノートの工夫やグループでの話し合いを重視した学習展開の改善が見られました。

懇談会では、授業について振り返ったあと、授業づくりや学級経営、保護者との接し方、教師集団のこと、勤務時間のこと等、様々な内容について懇談しました。

2学期以降の第2回スキルアップ事業が楽しみです。



人権教育講座① 野洲市人権センター

6月15日（金）15:00～16:45

講師：新地 紗貴さん（南比都佐小学校）

丸橋伊佐男さん（守山北中学校）

市内各校園から27名の先生方に参加いただきました。

講師のお二人の先生から、昨年度の全国大会で発表されたレポートづくりでの留意点や「分科会で深めたいこと3点」などについてわかりやすくお話いただき、夏の市人権の大会等に向けて教師の幼児、児童、生徒を視る目を再確認する講座になりました。

・レポートを書くにあたって、もう一度自分の思いを確かめ、向き合いたいと思いました。

・うまくいかないことも含めて、リアルな実践からの変容が分りやすくよかったです。

・子どもを一人ひとりかけがえのない存在としてみているのか、改めて考えさせられました。今一度、その点を自身に問いかけていきたいと思います。

・レポートにする中心となる子のことを思いながら研修に参加させていただきました。自分がしてきたこと、それが正解なのかどうかわかりませんが、レポートを書くことで考えが深まればいいな、今後それが生かせるといいなと思ひ

・生徒の変容はもちろん自分の変容を振り返るよい機会になるものだと感じました。発表会の空気、レポートの創り方が分って良かったです。

・「レポートをまとめることで、今の子どもにいかされる何かがある」という言葉が胸にささりました。どこか嫌々な部分があったので、レポートを書くにあたって前向きになれたのでよかったです。



6月7日（木） 英語教育推進講座①



講師：滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

指導主事 及川 一記 先生

授業者：辻井 博子 教諭（英語専科）

佐田 淳子 英語支援員

単元名：「友だちにインタビューしよう」

What do you like?

<参加者の声>

○出口をしっかり見据えた学習やリズムよくテンポよい学習、頭だけでなく体全体を使った学習を英語だけでなくどの授業でも取り入れていきたいです。

○ターゲットフレーズだけでなくT-Tのやりとりの中でどんどんフレーズを入れていくとよい事を教えていただき、教師の本物のやりとりをしていきたいと思いました。

○指導主事のお話は、分かりやすく大変良かったです。野洲市にはなぜALTがないのかと思いました。

<教育研究所の所感>

○「楽しいだけで終わらない授業」「単元の出口を見据えた単元計画」、「気づきを促す」授業構成の工夫など、様々な工夫のある授業でした。

また、5年生になって初めての文字を書くことにチャレンジし、文字に興味をもつきっかけとなりました。併せて、全ての児童が文字を書くことを厭わないようにすることの困難さも感じました。

○及川指導主事からは今回の授業の良かった点と改善点についてお話いただきました。特に「単元を通した必然性のある活動の設定」と「子どもは真実にこだわる」という2点は、小学校も中学校も共通することとして大切にしていきたいものです。小、中学校とも共に大きな変革を迎えるにあたり、小中の7年間あるいは高校も含めた10年間の系統的な英語教育が大切であると感じた講座でした。

今年度は、小学校英語教育にとっては英語教育元年といっても過言ではありません。英語専科教員と支援員、学級担任と支援員の指導体制でスタートしましたが、子ども達にとって楽しく、確かな英語の力がつく授業でありたいと願っています。

第2回の英語教育推進講座は、8月7日（火）14:00からコミセンきたので行います。学級担任が指導する英語の授業についての講話と演習です。

講師として**大教大の加賀田 哲也先生**をおよびして、**小学校英語の基礎を講義と演習**で学びます。来年度、加配教員の増員は未確定という不透明な状況の中、誰もが英語の授業ができる準備をしておく必要があります。

参加希望は夏季休業中も随時受け付けています。【当日参加可】

